

## 外宮周辺早わかり90分コース 約2.7km

筋向橋から参宮街道を歩き、昔のお伊勢参りを体験できるコースです。

外宮前観光案内所 : スタート



### 22 伊勢電大神宮前駅跡(いせでんだいじんぐうまええきあと)

伊勢電気鉄道(のちに参宮急行鉄道、関西急行鉄道、近畿日本鉄道)の終着駅跡。駅舎より東へ延長約80mのプラットホーム2本と4本の線路、最北端には1本の留置線があった。昭和5年に桑名から大神宮前駅までが全線開通したが、参宮本線及び名古屋線と並行路線であったため、昭和17年、大神宮前駅～新松阪間は廃止となり、わずか12年で役目を終えた。



### 23 豊川百間堀(とよかわひゃくけんぼり)

寛文10年11月の山田大火の後、山田奉行桑山丹後守(くわやまたんごのかみ)が、川の流れを利用し外宮を火事から守るために造らせた。北御門から坂世古まで長さ300mに及ぶお堀。現在は整備され、宮川の水を勢田川に繋ぐ導水路にも利用されている。



### 24 伊勢上座蛭子社(いせかみざえびすしゃ)

現在の伊勢市八日市場町は、その昔、毎月「八」の付く日に市が立ったことからその名がついた。山田ヶ原の産土神の一つである坂社(さかやしろ)の境内に鎮座する伊勢上座蛭子社は、商いの神様として信仰が厚い。毎年1月8日に行われる伊勢上座蛭子社大祭では、祭典の後、「えびす受」として福笹が授与されるので、商売繁盛を願う多くの参拝者で賑わう。



### 25 法住院(ほうじゅういん)・蘇鉄塚(そてつづか)

元禄2年(1689)、芭蕉が守栄院(しゅえいいん)で詠んだ句。この寺の門に入るや蘇鉄が目に入り、そのあたりから蘭の香りが漂ってくる様子を詠んだ。「門に入れば蘇鉄に蘭の匂ひ哉」。法住院は仁和年間(885~8)、智證大師(ちしょうたいし)の創建で、瘡守福荷(かさもりいなり)とも。寺宝の両界曼荼羅双幅は鎌倉後期の作。

### 26 梅香寺(ばいこうじ)

徳川家康の側室お梅の方の願いで、蓮随上人が蓮随山上に創建。明治45年に当地へ移転した。



### 27 筋向橋(すじかいばし)

清川に架かる筋向橋は神都・伊勢の入り口。ここで、伊勢参宮街道、大和からの伊勢本街道、熊野街道が合流した。昔、江戸から伊勢までの距離は、日本橋からこの橋までを計ったものであった。

### 28 国学者荒木田久老邸跡(あらきだひさおやていあと)

江戸後期の国学者で内宮権禰宜。本居宣長とともに賀茂真淵に師事。万葉集の研究で知られている。

### 29 参宮街道(さんくうかいどう) 外宮~内宮間は⑩参照

伊勢神宮参拝のための街道。東海道の四日市追分から伊勢湾岸道を通り、津、松阪を経て伊勢神宮へ至るルート。



### 30 小西萬金丹(こにしまんきんたん)

創業は延宝4年(1676)で、300年以上も現在の場所でお伊勢参りの旅人のため、薬を売り続けている。現在の建物は明治初期に改築されたものだが、伊勢地方特有の切妻造の建築様式を見ることが出来る。伊勢まちかど博物館の一つで、江戸時代の薬師が使った薬箱や乳鉢、丸薬の粒数を数えるざらめなどが展示されている。



### 31 御師福島みさき大夫邸跡(おんしふくしまさきだゆうていあと)

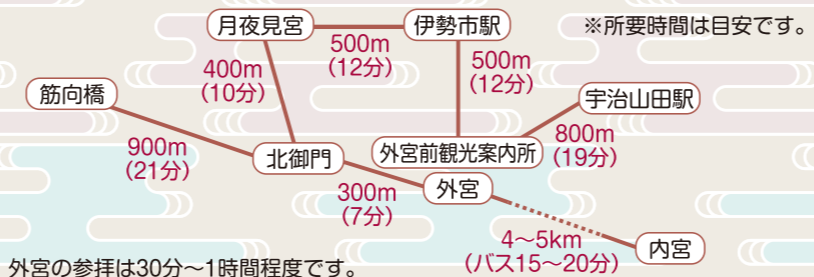
山田の代表的御師で、正しくは福島御塩焼大夫と称した。安永6年(1777)には、檀家数は18万5千戸余りに及ぶ大規模なものだった。邸宅は現在の伊勢市八日市場町にあったが、門は昭和10年(1935)に倉田山に移築され、神宮文庫黒門(御幸道路沿い)として利用されている。門の建築年代は安永9年(1780)。昭和33年(1958)伊勢市の有形文化財に指定された。

外宮 北御門 : ゴール



掲載のコースは  
レンタサイクルでも  
楽しく廻ることができます。

## 散策の所要時間



外宮の参拝は30分~1時間程度です。

## インフォメーション

### お伊勢さん観光案内人

- お申し込みは…美し国観光ステーション TEL 0596-24-3501  
3日前までにインターネット・お電話で予約ください。
- 料金は…(外宮)1グループ(5人まで)2,000円(税込)
- 案内所要時間…(外宮)約60分(但し、ご希望の時間に応じて対応)
- お問い合わせ…美し国観光ステーション TEL 0596-24-3501  
URL <http://www.ise-cci.or.jp> E-mail [oisesan@ise-cci.or.jp](mailto:oisesan@ise-cci.or.jp)

### お伊勢さん観光ガイドの会

- お申し込みは…10日以上前までに電話・FAX・郵送・インターネット等で「お伊勢さん観光ガイドの会」事務局へお申し込み下さい。  
※外宮のみのご案内については9:30~15:00の間、外宮前観光案内所にて随時受付。
- 料金は…ガイド料は無料です。(交通費・食事代等はご負担願います。)
- 詳しくは…お伊勢さん観光ガイドの会 TEL・FAX 0596-23-3323  
事務局 〒516-0074三重県伊勢市本町16-2(公益社団法人伊勢市観光協会)  
URL <http://www.ise-kanko.jp> E-mail [guide@ise-kanko.jp](mailto:guide@ise-kanko.jp)

### 市立伊勢図書館 TEL 0596-21-0077

- 伊勢市八日市場町13-35
- 開館時間…午前9時~午後7時
- 休館日…毎週水曜日と毎月第2金曜日、年末年始、特別整理期間

### 市立伊勢古市参宮街道資料館 TEL 0596-22-8410

- 伊勢市中之町69
- 開館時間…午前9時~午後4時30分
- 休館日…毎週月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)、年末年始、休日の翌日

### 神宮の博物館 せんぐう館 TEL 0596-22-6263

- 伊勢市豊川町前野126-1(外宮まがたま池)
- 開館時間…午前9時~午後4時30分(入館は4時まで)
- 休館日…毎月第4火曜日(祝日の場合はその翌日)
- 入館料…一般 300円 小・中学生 100円

### 神宮徴古館 TEL 0596-22-1700

- 伊勢市神田久志本町1754-1
- 開館時間…午前9時~午後4時30分(入館は4時まで)
- 休館日…毎週月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)、年末
- 入館料…三館共通 大人 700円 大学・高校 400円 小・中学生 250円

### 神宮農業館 TEL 0596-22-1700

- 徴古館・農業館 大人 300円 大学・高校 150円 小・中学生 100円
- 美術館 大人 500円 大学・高校 300円 小・中学生 200円
- ※詳細は各施設にお問い合わせ下さい。

### レンタサイクル

- (公社)伊勢市観光協会
- 料金:4時間まで……………500円
- 4時間以上……………800円
- レンタサイクル宿泊料…………100円

※時間内に返却できない場合は、延滞料が発生しますのでご注意ください。

外宮前観光案内所 ☎0596-23-3323 ●8:30~17:00	宇治山田観光案内所 ☎0596-23-9655 ●9:00~17:00
--	---

伊勢市駅手荷物預かり所 ☎0596-65-6861 ●9:00~17:00
---

- 伊勢河崎商人館 TEL 0596-22-4810  
(NPO法人伊勢河崎まちづくり衆)
- 9:30~17:00 料金:300円

### 観光案内所

- (公社)伊勢市観光協会
- 外宮前観光案内所……………TEL 0596-23-3323
- 宇治山田駅観光案内所…………TEL 0596-23-9655
- 二見浦観光案内所……………TEL 0596-43-2331
- 宇治浦田観光案内所…………TEL 0596-23-3033
- 伊勢市駅手荷物預かり所 TEL 0596-65-6861
- 伊勢市駅観光案内所…………TEL 0596-65-6091

## 伊勢元気再生事業推進協議会

伊勢商工会議所内 TEL 0596-25-5153



地方の元気再生事業

# 外宮周辺 名所 散策マップ

伊勢人の「昔」に出会う

まち歩きのスズメ

お伊勢参りは外宮から内宮へ  
お伊勢参りは外宮、内宮の順にお参りすることが古くからのならわしとされています。



## 外宮周辺まち歩きモデルコース

### ■ 外宮周辺早わかり

外宮周辺はお伊勢参りの賑わいにより、独自の文化・歴史を残してきました。その外宮周辺の名所・史跡を巡るコースです。

外宮周辺早わかり60分コース(約1.5km)

外宮周辺早わかり90分コース(約2.7km)

### ■ 芭蕉めぐり

俳聖芭蕉は生涯に6度伊勢参りをしました。この地でも沢山の句を残しており、多くの芭蕉ゆかりの地を巡るコースです。

芭蕉めぐり60分コース(約1.7km)

芭蕉めぐり90分コース(約2.3km)

# 伊勢 外宮周辺名所散策マップ

その昔、伊勢の街の人々は、参宮に訪れた方々を「施行」としてねぎらい優しくお迎えしてまいりました。そのことから伊勢参りを「おかげ参り」と呼ぶようにもなりました。

参宮記念「参宮」のお札（施行札）を掲げて、お伊勢まいりをお楽しみください。

### 外宮周辺まち歩きモデルコース

- 外宮周辺早わかり60分コース (約1.5km)
- 芭蕉めぐり60分コース (約1.7km)
- 外宮周辺早わかり90分コース (約2.7km)
- 芭蕉めぐり90分コース (約2.3km)
- 30分コースは北御門→神路通り→月夜見宮の往復です。

※所要時間は目安です。



**伊勢外宮**  
正しくは豊受大神宮といひ、豊受大神をおまつりしています。第21代雄略天皇の22年(478)天照大神のおおかげにより、丹波の国から高倉山のふもと、山田原にお迎えしました。天照大神のお召しあがりになる大御饗(食物)を司る神さまであり、私たちの営むすべての産業の守護神です。

## 芭蕉めぐり60分コース 約1.7km

外宮と月夜見宮周辺の芭蕉ゆかりの地を巡るコースです。

外宮前観光案内所 : スタート

- **9 伊勢和紙館(いせわしかん)(大豊和紙工業)**  
和紙、製造道具の展示をするまちかど博物館。工房の2階は明治初期に始まったといわれる伊勢での製紙の歴史や、原料のコウゾやミツマタ、すかしの入った和紙、手漉きの道具などが展示されている。2,000坪の広大な敷地の大部分は、江戸時代の御師龍大夫邸跡。敷地内には「明治天皇行在所」と記された碑もある。開館日:月～金曜日 9:30～16:30 ☎28-2359
- **10 松葉屋風瀑句碑(まつばやふうばくく)**  
貞享元年(1684)8月、芭蕉が「野ざらし紀行」の途中、伊勢を訪れ、外宮で詠んだ句。その時、芭蕉は風瀑宅に10日ばかり滞在。風瀑(?～1707)は伊勢山田大世古(おおぜこ)の御師。俳句を嗜む。一時、江戸に住み、その頃から芭蕉と親交があり、その後も江戸の芭蕉庵を訪ねたりして親交が続く。『三十日(みそか)月なし千年(ちとせ)の杉を抱く嵐』



● **11 御師龍大夫邸跡(おんしりゅうだゆうていあと)**  
代々外宮の権禰宜家として御師。明治天皇もご一泊された。現在の大豊和紙工業の敷地。龍大夫(太夫とも)邸は山田(外宮)の御師として規模も最大級であり、格式ある立派な屋敷であった。御師の制度が廃絶された後、大豊和紙によって屋敷跡1,648坪と建物16棟を買い取られ、今も明治天皇行在所(あんだいしょ)跡や龍の井など、その名残の史跡がいくつか残されている。



● **12 常明寺(じょうみょうじ)**  
もと倭町にあった古刹(こさつ)、常明寺の名跡を継ぐ。日蓮宗の寺院。境内に「秋の風伊勢の墓原なほ凄し」と刻まれた秋風塚と呼ばれる松尾芭蕉の句碑が建つ。これは、西行の「吹きわたす風にあはれをひとしめていづくもすごき秋の夕暮」を典拠としている。常明寺にあるこの秋風塚は、句碑としては珍しく楠の化石が用いられている。

● **13 芭蕉の案内板**  
伊勢と芭蕉のかかわりが、ここに書かれている。

- **2 月夜見宮**
- **1 神路通り** ※外宮周辺早わかり60分コース参照

外宮 北御門 : ゴール

## 外宮周辺早わかり60分コース 約1.5km

月夜見宮とその周辺の名所、史跡を巡るコースです。

外宮前観光案内所 : スタート

- **1 神路通り(かみじどおり)・白馬伝説**  
天照大神の弟神、月夜見命を祀る月夜見宮と外宮北御門をつなぐ通り。この道は月夜見の神様が石を白馬に変えて外宮に通われる道とされ、神の通り道である中央を歩かないようにと地元では言い伝えられている。この道の中央部の色を変えて整備されているのはこのわけから。また春には、通り沿いの民家の軒下に植えられた枝垂桜が目を楽しませてくれる。
- **2 月夜見宮(つきよみのみや)**  
『日本書紀』には、月夜見尊は、その光彩が、天照大神につぐものであると、たたえられている。天照大神のご神徳は、「その光華明彩、六合の内に照り徹るほどでございます」と、太陽にたとえられているが、月夜見尊のご威徳は、それにつぐものとして、月になぞらえて、たたえられたと考えられる。

● **3 須原大社(すはらいしゃ)** (3と4を回ると、プラス30分かかります。)  
山田産土神の一つ。須原とは宮川の支流清川の流域「洲原」のことである。

- **4 欣浄寺(ごんじょうじ)**  
浄土宗鎮西派知恩院末寺で、本尊は阿彌陀如来。正しくは麻離山易行院(えんりざんいぎょういん)欣浄寺といふ。法然上人の25霊場の第12番。寺内に円光大師(法然上人)感得日の丸名号と大師満月像がある。現在の寺院は、大正6年(1917)改築、倭町の常明寺境内にあったものを移転したもの。

- **5 芭蕉句碑(ばしよくひ)**  
芭蕉が元禄2年(1689)参宮の際、10日ほど滞在した島崎又玄(しまざきゆうげん・1671～1742)の妻を詠んだ句。明智光秀が貧乏なとき、その妻が髪を切って夫の客を接待しようとしたので、裕福でない又玄の妻が芭蕉に手厚いもてなしをしたことに対して感謝を込めて詠んだもの。又玄は俳句を嗜み、芭蕉の歌仙に一座したこともある。『月さびよ明智が妻の咄しせん』

- **6 足代弘訓邸跡(あじろひろのりていあと)**  
伊勢出身の江戸後期の国学者で、外宮の権禰宜(ごんねぎ)。大塩平八郎や勤皇の志士とも交流があった。また、各方面に活躍し、救荒作も請じた。伊勢市駅北には墓地があり、入り口には「国学者足代弘訓翁墳墓」という碑が建てられている。中央にある最も大きな墓が弘訓のもので、「正四位上度会弘訓神主墓」と刻まれ、裏側に「安政三年丙辰十一月五日卒 享年七十三」とある。

- **7 JR伊勢市駅(いせしえき)**  
1897年(明治30年)参宮鉄道 宮川～山田間の延伸により、山田駅として開業した。かつての国鉄駅には東京駅、大阪駅などから直通する列車が発着するなど神都の玄関口としての役目を担っていた。

- **8 外宮参道(げくうさんどう)**  
伊勢市駅から外宮に通じる参道。かつては木造の旅館が軒を連ねる旅館街であったが、今では山田館とつるや旅館の2軒を残すのみ。神都電車の路線でもあった。

外宮前観光案内所 : ゴール

## 芭蕉めぐり90分コース 約2.3km

外宮から宇治山田駅までの芭蕉ゆかりの地を巡るコースです。

外宮前観光案内所 : スタート

- **14 久保倉右近(くぼくらうこん)(路草)邸跡**  
伊勢山田の御師。路草は右近の俳号。乙孝ともいひ、後に俳諧撰集「一福半(ひとのはん)」(元禄13年・1700)を編む。貞享5年(1688)春、松尾芭蕉が路草邸で句を詠んでいる。紙製の着物が春雨にぬれようと、花を一枝折りとうとうといさまを詠んだ句。『紙ざぬのぬるともをらん雨の花』

- **15 出口延佳邸跡(でくちのぶよしていあと)**  
出口延佳(1615～1690)は外宮の権禰宜に任ぜられ、神道に関する多くの著書を残した。豊宮崎文庫の創建(慶安元年・1648)に功労があった。

- **16 箕曲中松原神社(みのなかつまづらじんじゃ)**  
山田産土神の一つ。この社はかつて大蔵社、中松原社、箕曲社などと称されていたが、今の名前に改められた。

- **17 宇治山田駅(うじやまだえき)**  
伊勢市内の代表的な近代建築の一つ。1931年(昭和6年)参宮急行電鉄の終着駅として建設された。

- **18 度会府庁跡(わたらいふちようあと)**  
大政奉還後、度会府庁が誕生し、府庁がここに置かれた。現在の宇治山田駅は度会府庁に建てられた。

- **19 参宮街道(さんくうかいどう)** 外宮までは20参照  
外宮から勢田川にかかる小田橋を越え、間の山、古市に至る。牛谷坂を下りると内宮へ。

- **20 何木塚句碑(なんのきづかくひ)**  
貞享5年(1688)春、山田の俳人たちと一座した時の芭蕉の句。西行の歌として伝えられている「何事のおはしますをばしらねどもかたじけなさをなみだこぼる」の歌から詠んだ句。祖霊社境内に建っている。この時、芭蕉と一座した山田の人たちに勝延(しょうえん・?～1968)、益光(えっこう・生没年不詳)、嵐朝(らんちよう・生没年不詳)などがある。「何の木の花とは知らず句いかな」

- **21 木槿塚句碑(むくげつかくひ)**  
「野ざらし紀行」に出ている初秋の句で、芭蕉が馬に乗って旅をしている時、道のほとりに咲いている木槿の花を馬がばくりと喰ってしまった情景を詠んだ句。伊勢で詠んだ句ではないが、この句碑は豊宮崎文庫跡にありますが、現在整備工事中の為、見ることが出来ません。「道のべの木槿は馬にくはれけり」

外宮前観光案内所 : ゴール